

「ほっとひろば」自主活動から市の事業へ

NPO法人ふらっとスペース金剛 岡本聡子

■ 自主活動としての出発（2003.5）

「しんどい子育て」を経験した母たちの思いから
民家を借りられることになって
週1回、3時間の「ほっとスペース」
当事者として、柔軟に、迅速に、市域にとらわれず
利用料（1回500円）、ボランティア主体の運営

■ 活動の広がり事業化への働きかけ

利用者の要望を受け、週1.5回→週3回へと拡大
内部での議論とNPO法人格の取得
大阪府のコミュニティ・ビジネス支援と次世代育成支援行動計画
「つどいの広場」実施に向けた市への働きかけ
つどい全協・研修セミナーへの参加と情報収集

■ 富田林市つどいの広場事業「ほっとひろば」オープン（2005.8）

市との折衝
予算は？ 場所は？ スタッフは？
開設日数は？ 利用料は？
利用者の反応、要望

■ これからの「ほっとひろば」

「出張ほっとひろば」の展開
大阪つどいの広場ネットワークを通じたつながり
子育て支援に取り組む他の機関とのつながり
地域の他のNPOとのつながり

岡本 聡子（おかもと さとこ）

NPO法人ふらっとスペース金剛代表理事。小6・小2の娘と夫の4人暮らし。夫の転勤で地域との関わりが少ない中での孤立した子育てだったことや、次女が重いアレルギー児だったことから、母だけのまた家族だけの力では、子育てが非常に難しいことを体感する。2003年社会福祉士となり、子育て支援ひろばの立ち上げに関わる。思いを形にかえていく作業が大好き。「母」や「妻」だけでなく「私」でありたいという思いを持ちながら、人と出会い、自分探しの旅の途中。それぞれの人の「自分らしく」が実現できるコミュニティづくりを夢みている。